積極的に再利用！
フレンドリーフェスタ24。

イベントの準備からごみが少なくなるよう
環境に配慮した取組を実施。高学年から低学年、さらに幼児や乳児へと活動の輪を
広げるとともに地域への取組に発展を。

内容 再利用を心がけたイベント準備

本校では、10年間以上前から「フレンドリーフェスタ24」という児童自治を行っている。平成22年度は11月下旬に3校舎を使い、開催した。
ペットボトルを使用したボリュームや凍結のストラップタオルなどの部品の作り、新しい紙を使わないことを心がけた。紙かきやドラッジなどを利用した
工作をするも、準備段階から、学習発表会で使
つかったものを活用するなど、自然な形で再利用に取り組
んでいる。活動後にごみが大量に出ないように工夫し実
施することにより、年々ごみの量も減り、片付けも早く
行えるように改善させてきた。

3～8年生の児童が学校活動及び児童活動の時間
や休日の時間を利用して準備を行い、1～2年生はお母さ
んとして参加、近隣の幼稚園2校、保育園4園の年長
の子どもを招待している。

これを参考に、1年生が同じく環境に配慮した「ミ
ニフレンドリーフェスタ34」とを開催し、紙巻きや包装
糖の包装などを作り、近隣の幼稚園2校、保育園4園の
年長の子どもを招待している。

今後 イベントを通じ地域で環境意識を

イベントにより、幼稚園・保育園及び地域の方々との
繋がりが深まった。学習発表会にも来られるなど、交流が深まった。これからはイベントを通じて地域で環境について考える取組を行ってい
ようと思う。

子供たちのイベントを通じて楽しみにしているが、孝子
にかける時間や材料が限られている

現在、参加者が多いことを心がけており、参加者
を取り入れる適切な取組を行うことによる

広げよう つなげよう 環境学習の輪

実施校からメッセージ

手稲区 前田北小学校

イベントのコーナーづくりに身近な素材を再利用。
「あるものを工夫して使う」ことを学ぶ。

内容 牛乳パックやペットボトルで店づくり

本校では毎年11月、生活科の時間を利用して1～
2年生の交流を受けたイベント時に、環境への配慮を
意識した取組を行っている。
イベントは10月に行われているPTAのパーソを手
本にしており、廃紙、ボーリングなどのゲームコーナー
やおしゃれ雑貨などの出店がある。このときのコーナー
や店づくりには、ダンボールや牛乳パック、ペットボトル
とキャップなどを使用しているが事情やのごみを
減らすことを意識させるように行っている。

イベント自体は2年生がお店の主任、1年生がお客さ
んとして参加するためで実施している。準備、店舗
付けも生活科の学習として行われ、作ったものは資源
ごみとしてリサイクルしている。

また、本校では毎年、リサイクルの収集に取り組
んでいる。3年生が図書の収集の中で、リサイク
ルブルを素早く対応できるよう、学年での活動と
してスタートさせた。仮設の现地に収集しているが、
集まったリサイクルの取り扱いについては検討
中である。

今後 環境を考え、今あるものを利用する

本校では「新しいものではなく、あるものを使おう」
という意識が学校全体に根付いている。日常から
回収箱を置いて冊子の替えを簡単にするなど
しているが、イベントにも、工夫と努力で「あるもの
から、新しいものをつくる」ことを実践している。
イベントの目的は「遊びを通じて交流をおこす」と
いうものだが、こういった機会を利用して環境に配慮
した行動についても学ぶことが
できると考えている。

環境学習は非常に幅広いので、各学校、各先生によっていろいろな取組があり、その分野が広がっています。本当に工夫が試行されているが、工夫と
という表現のないものばかりでなく、アート等も含めて多面向に学習してい
る必要があると思います。